

holocaust

1.全燔祭

《ユダヤ教の祭事で獣を丸焼きにして神前に供えるいけにえ》

2. (特に火による) 大虐殺、全焼死。

3. [the H~] (第2次大戦中のナチスによる) ユダヤ人の大量虐殺。

【ギリシャ語「全体を燃やす」の意】 (研究社『新英和中辞典』より)

「ホロコースト」は宗教用語であり、大量虐殺を表す言葉としては不適切との意見もある。



ユダヤ人差別

ユダヤ人に対する差別と迫害は、ことにヨーロッパにおいては長い歴史をもっている。今から二千年ほど前、国を追われたユダヤ人たちは世界中に散らばっていった

→()a

キリスト教の広まったヨーロッパでは、宗教や生活・文化の違いからさまざまな差別が起り、この反ユダヤ主義は、中世にはますます激しさを加え、()bの時代(12世紀~14世紀)には、たくさんのユダヤ人が殺された。ペストの病気がはやりすると、それもユダヤ人のせいとされ、大虐殺が起きた。19世紀になると、ヨーロッパの科学者たちの中に、ユダヤ人は人種的に劣っている民族で、優秀なヨーロッパ人種の敵であるという考え方が起きてきた。政治家たちも、民衆の人気を得るために進んでユダヤ人を差別し、攻撃した。こうして、20世紀を迎えるころには、特にドイツには反ユダヤ主義と呼ばれるユダヤ人排斥運動が大変強くなっていた。

ヒトラー

1933年、アドルフ・ヒトラーがリーダーとなったドイツのナチス党(国家社会主義ドイツ労働党)が、選挙によって政権についた。第一次大戦で敗北したドイツは、経済的、社会的に混乱し、それに拍車をかけて政治の不安定があった。特に1929年の()cにより失業者が続出し人々の不満は頂点に達していた。

ナチスは、「()d人がすべての問題の原因である」という考えをもっていた。首相となったヒトラーは、ただちにユダヤ人を苦しめ始めた。ナチスの突撃隊は、ユダヤ人の店に看板やスローガンを記し、人々がそこで買い物をするのを禁止し、従わない者は罰を受けた。

反ユダヤ政策はさらに勢いを増していき、ユダヤ人は公職から追放され、政界や教育の場、芸術の世界からも閉め出されていった。

概略

当初ナチ党の対ユダヤ人政策で具体的に目指されたのはヨーロッパ外への強制大量移住によってヨーロッパからユダヤ人を()eする計画であり、その劣悪な移送環境と移送先の過酷な気候によって大多数が死滅するだろうという漠然とした予測をもって立案されていた。しかしそれは1940年以降、対英・対ソ戦局の推移に伴って廃案となり、1942年1月20日ベルリンのヴァンゼー会議において『ユダヤ人問題の最終的解決』が決定され、()f収容所への隔離と労働を通じた絶滅及び()g・一酸化炭素・排気ガス等を用いた組織的殺戮へと計画は変更されたと言われている。ナチ党は、ベルゲン・ベルゼンをはじめとするドイツ国内の「強制収容所」の他に、アウシュヴィッツ(及びビルケナウ)をはじめとする「()h収容所」をポーランド領内に建設し、ユダヤ人をこれらの「強制収容所」及び「絶滅収容所」に収容した。とりわけ「絶滅収容所」には、ユダヤ人の大量殺人を可能とする処刑用の「()i」が設けられた。処刑用「ガス室」では、「ツィクロンB」と呼ばれる毒ガスを使って、約600万人ものユダヤ人が処刑されたとされる。処刑後のユダヤ人の遺体は、焼却炉をフル稼働して焼却処分されたので残っていないとされる。

ゲットーへの収容

1939年9月の()j侵攻直後から、「ユダヤ人問題」の直接的解決が実行され、まず占領地域在住ユダヤ人のゲットーへの囲い込みが始まった。翌1940年11月には40万人が住む()k・ゲットーが壁と有刺鉄線で囲まれて交通が遮断され、1942年7月からゲットー住民の強制収容所移送が始まり、1943年4月19日よりSS少将ユルゲン・シュトロープの指揮下、ゲットー掃討作戦が行われる。劣悪な衛生状態と食糧事情から既にこの期間に多くの犠牲者が出ている。また、シンティ・ロマ人(ジプシー)の放浪が禁止されて登録とゲットーへの囲い込みが行われたのもこの期間であった。

東部における組織的殺戮

このような計画とは別に、独ソ戦の開始の翌日1941年6月23日以降、ウクライナを中心とする東部戦線のドイツ軍占領地域では保安警察やラトヴィア人、リトアニア人、ベラルーシ人の現地補助警察などで構成された特別行動隊による現地ユダヤ系住民の組織的殺戮が実行された。この一連の掃討作戦において最も悲惨な例が1941年9月29日・30日に起きたキエフ近郊の()lでの大量処刑である。入り組んだ地形を利用して先頭で行われる処刑を隠蔽し、長い列になったユダヤ人37,000人が特別行動隊によってこの2日間で次々に射殺されたが、それ以降も同地は1943年8月まで処刑地として使用されている。

絶滅収容所

ドイツ国内には既に戦前からダッハウやザクセンハウゼンなどの収容所が存在したが、それらの収容所は比較的小規模であり政治犯や西側の捕虜などが比較的多く収容されていた。絶滅を目的とした収容所としては1942年から()m=ビルケナウ、トレ布林カ、マイダネク、ベウジェツ、ソビブルなどの収容所が次々と完成しゲットーや占領地域から多くのソ連人捕虜・ユダヤ人が送り込まれた。()n作戦と呼ばれるポーランド=ユダヤ人絶滅作戦にそって作られたそれらの収容所では労働可能者が選別されることなくほぼ全員が直接ガス室に送られたとされる。とくに()nの犠牲者は群を抜いて多く、およそ900,000人がそこで殺されたと言う。



アンネ・フランク



マクシミリアン・コルベ

犠牲者の数

犠牲者について正確な資料が残されていないため、特に後期の犠牲者の数を推測するのは困難であるが、研究者の間では共通の認識が示されている。出身地域別のユダヤ人犠牲者数は

ドイツ; 165,000、オーストリア; 65,000、フランスおよびベルギー; 32,000、オランダ; 10,000以上、ギリシャ; 60,000、ユーゴスラヴィア; 60,000、チェコスロヴァキア; 140,000以上、ハンガリー; 500,000、()o; 2,200,000、()p; 2,700,000。

このほかにルーマニアなどにおけるポグロムや行動部隊の掃討作戦による被害者200,000以上、アルバニア、ノルウェー、デンマーク、イタリア、ルクセンブルク、ブルガリアなどから収容所に移送されたユダヤ人がいた。

シンティ・ロマ人; 250,000人 同性愛者; 10,000から25,000人 精神障害者・重病人など; 20,000から30,000人 おびただしい数の犠牲者が出たことがわかる。

- ・絶滅 ・追放 ・強制 ・十字軍 ・毒ガス ・ガス室 ・ロシア ・ユダヤ ・世界恐慌
・ゲットー ・ポーランド(2) ・ワルシャワ ・トレ布林カ ・バビ・ヤール ・ラインハルト
・ディアスポラ ・アウシュヴィッツ